年間授業計画　様式

# 高等学校　令和６年度　　教科　国語　　科目　論理国語

教　科：　国語　　科　目：　論理国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 年次　1 組～　5 組

教科担当者：（　応用：　柴田　（　標準：　中林　（　基礎：　村岡　）（　組：　）（　組：　）（　組：　）

使用教科書：（　論理国語　大修館書店　）

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】　生涯にわたる社会生活に必要な国語についての知識や技能を身に着けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりのなかで伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重して、その能力の向上を図る態度を養う。

科目　論理国語　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるよ | 論理的、批判的に考える力を伸ばし、また他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 世界を広げる批評の言葉<br><br>・筆者が定義することを的確に押さえ、主張をとらえる。<br>・これからの時代における「書く」「読む」力について、自分の考えをもつ。 | ・筆者の主張とその前提や反証などについて理解させる。<br>・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開をふまえながら要旨を把握させる。<br>・内容に関して自らの考えをもたせる。 | 【知識・技能】<br>・筆者の主張とその前提や反証などについて理解を深めている<br>【思考・判断・表現】<br>・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開をふまえながら要旨を把握している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | ミロのヴィーナス<br><br>・比喩的な表現に注意しつつ、論の展開をとらえる。<br>・筆者の主張をふまえて、美しさについて、理解を深める。 | ・必要な語句の量を増やす。<br>・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成を把握させる。<br>・学習課題に沿って、本文中の比喩表現に注意しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえさせる。 | 【知識・技能】<br>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感　を磨き語彙を豊かにしている。<br>【思考・判断・表現】<br>・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ　、論点を明確にしながら要旨を把握している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・学習課題に沿って、本文中の比喩表現に注意しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | |
| | コミュニティから見た日本<br><br>・グラフと関連づけながら本文の内容を読み取る。<br>・日本社会の特徴について、理解を深める。 | ・語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。<br>・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえさせる。<br>・学習課題に沿って、グラフと本文の内容を関連づけながら、粘り強く筆者の主張をとらえさせる。 | 【知識・技能】<br>・語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>【思考・判断・表現】<br>・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・学習課題に沿って、グラフと本文の内容を関連づけながら、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | スキーマと記憶<br><br>・実験結果などの具体例の本文中での役割を理解し、主張を読み取る。<br>・記憶や学習におけるスキーマの働きを理解し、ものの見方を広げる。 | ・本文において主張に当たる情報とそれを裏づける情報とを明確に区別させる。<br>・「読むこと」において、本文の構成における具体例の役割について的確に理解させる。<br>・本文の内容に興味をもち、意欲的に学習活動に取り組ませる。 | 【知識・技能】<br>・本文において主張に当たる情報とそれを裏づける情報とを明確に区別している。<br>【思考・判断・表現】<br>・「読むこと」において、本文の構成における具体例の役割について的確に理解している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・本文の内容に興味をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 「方言」コスプレ現象<br><br>・筆者の方言に対する視点や分析のしかたを的確にとらえる。<br>・方言と社会の変容との関係に興味をもち、探究する。 | ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。<br>・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。<br>・学習課題に沿って、方言に関する具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえさせる。 | 【知識・技能】<br>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>【思考・判断・表現】<br>・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・学習課題に沿って、方言に関する具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。 | | 1 | | 5 |
| | 社会的実存としての言語・法・貨幣<br><br>・論の展開のしかたや、具体的なエピソードの意図を理解する。<br>・言語・法・貨幣がどのような存在かを読み取り、社会に対する認識を深める。 | ・言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解させる。<br>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深める。<br>・学習課題に沿って、具体的なエピソードに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえさせる。 | 【知識・技能】<br>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・学習課題に沿って、具体的なエピソードに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | |
| | 敬語への自覚、他者への自覚<br><br>・敬語についての筆者の主張と論理の展開を的確につかむ。<br>・敬語や若者言葉など、言葉と社会の関係に興味をもち、考えを深める。 | ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。<br>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深める。<br>・学習課題に沿って、敬語のもつ働きに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえさせる。 | 【知識・技能】<br>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>【思考・判断・表現】<br>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・学習課題に沿って、敬語のもつ働きに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | 現代日本の開化<br><br>・小見出しごとに文章の要旨をとらえ、筆者の主張をつかむ。<br>・グローバル時代における文化の多様性の価値を考える。 | ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。<br>・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握させる。<br>・学習課題に沿って、本文の小見出しにも注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえさせる。 | 【知識・技能】<br>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>【思考・判断・表現】<br>・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。[B (1)ア]<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・学習課題に沿って、本文の小見出しにも注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | |
| 3学期 | 対話の精神<br><br>・語の定義や対比を手がかりに、筆者の主張を的確にとらえる。<br>・日本の文化の特徴をふまえつつ、対話についての理解を深める。 | ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。<br>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深める。<br>・学習課題に沿って、本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取らせる。 | 【知識・技能】<br>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>【思考・判断・表現】<br>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・学習課題に沿って、本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。 | | | | 5 |
| | 科学は生きている<br><br>・小見出しごとのまとまりに着目して、論の展開を押さえ、筆者の主張をとらえる。<br>・科学に対する筆者の主張について自分の知識や経験などにもとづいて考えをもつ。 | ・主張とその根拠や前提となる情報との関係について理解させる。<br>・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握させる。<br>・積極的に、学習課題に沿って、筆者の主張と根拠の関係を理解した上で論の展開をとらえさせる。 | 【知識・技能】<br>・主張とその根拠や前提となる情報との関係について理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・積極的に、学習課題に沿って、筆者の主張と根拠の関係を理解した上で論の展開をとらえようとしている。 | | | | 5 |
| | 絵を見る技術<br><br>・エピソードや具体例の役割に注意し、本文と図版を関係づけながら読む。<br>・絵を見る方法を的確に読み取り、ものの見方を広げる。 | ・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。<br>・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて，書き手の意図との関係において多面<br>的・多角的な視点から評価する。<br>・本文と図版を関係づけて読むことをとおして、段落相互の関係に注意しながら、書き手の意図との関係において構成や展開を積極的にとらえ、今後の学習に生かす。 | 【知識・技能】<br>・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。<br>【思考・判断・表現】<br>・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて，書き手の意図との関係において多面<br>的・多角的な視点から評価している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・本文と図版を関係づけて読むことをとおして、段落相互の関係に注意しながら、書き手の意図との関係において構成や展開を積極的にとらえ、今後の学習に生かそうとしている。 | | | | 5 |
| | | | | | | | 合計<br>51 |

年間授業計画　様式

# 高等学校 令和６年度　　教科　公民　　科目　公共

教　科：　公民　　科　目：　公共　　単位数：　２　単位

対象学年組：第　２　年次　１　組　～　５　組

教科担当者：　（１組：浦野勝広 ）（２組：浦野勝広 ）　（３組：浦野勝広 ）（４組：浦野勝広 ）（５組：浦野勝広 ）

使用教科書：（　２東書　公共１０７　公共　　）

教科　公民　　の目標：

【知識及び技能】　現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念とともに，諸資料から，倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べてまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】　現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら考えをまとめて表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】　現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権をになう公民として平和と繁栄を図ることや，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を育む。

科目　公共　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 授業における学習事項全般を理解し、定期テスト等の知識・理解の確認において７割程度の正解を導くことができるとともに、提示された資料から，倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切に収集し，読み取り，自らの意見をまとめる技能を身につける。 | 単元ごとの主題に対する自らの意見を多面的に判断して、公共的な空間における基本的原理を活用して，自らの意見を理由とともに説明することができるとともに、他者の意見とも比較しながら公正に判断しながら自らの考えをまとめていくことができる。 | 学習事項に対する関心を深め、授業での課題を解決しようとする姿勢を保ち、よりよい社会の実現に向けて，公共的な空間に生きる公民として，現代社会における諸課題についても主体的に追求し、解決しようと態度に発展していくことができる。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 第1部第1章　公共的な空間をつくる私たち一社会のなかの自己<br><br>(1)現代社会に生きる青年<br>・青年期の特徴及び青年期の発達課題としてのアイデンティティの確立,キャリア開発，人間関係の形成と社会参画の意義などについて理解する。<br>・青年期の特質の理解をふまえ，キャリア開発と社会参画の意義について考察する。 | ・青年期の特質については，自己理解や他者との関係性の側面から捉えさせる。<br>・キャリア開発は，学習活動だけでなく，委員会活動や生徒会活動，部活動，ボランティア活動等さまざまな活動をとおしてなされていることに気付かせる。<br>・教材及び一人1台端末の活用 | 【知識・技能】<br>・青年期の特徴及び青年期の発達課題,現代社会を生きる課題，人間関係の形成などについて理解している。<br>・教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切に収集し,読み取っている。<br>【思考・判断・表現】<br>・学習主題について，多面的に考察し，表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・学習主題について，主体的に追究している。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | (2)社会的な関係のなかで生きる人間<br>・人間存在を，個人としての尊厳，社会的存在，伝統と文化と人間の三つの側面から，カント，J.Sミル，アーレント，ハーバーマス，和辻哲郎，丸山真男の考え方を手がかりに理解する。 | ・人間が個人として存在しながら，社会のなかで生きざるをえない存在であること，また，ものの捉え方や対処の仕方などが伝統・文化に影響を受けていることを理解させる。<br>・教材及び一人1台端末の活用 | 【知識・技能】<br>・人間の存在を，個人としての尊厳，社会的存在，伝統文化と人間の側面から，先哲の考え方を手がかりに理解している。<br>・教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切に収集し,読み取っている。<br>【思考・判断・表現】<br>・学習主題について，多面的に考察し，表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・学習主題について，主体的に追究している。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | 第1部第2章　公共的な空間における人間としての在り方生き方一共に生きるための倫理<br><br>・考え方としての功利主義と幸福の原理や義務論と公正の原理を理解する。<br>・生命倫理や環境倫理にかかわる課題について，功利主義や義務論の視点から考察する。 | ・考え方としての功利主義と幸福の原理や義務論と公正の原理を理解させる。<br>・生命倫理や環境倫理にかかわる課題について，功利主義や義務論の視点から考察させる。<br>・教材及び一人1台端末の活用 | 【知識・技能】<br>・現代の課題を判断し選択する手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方について理解している。<br>・教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切に収集し,読み取っている。<br>【思考・判断・表現】<br>・学習主題について，多面的に考察し，表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・学習主題について，主体的に追究している。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 第1部第3章　公共的な空間における基本的原理　一　私たちの民主的な社会<br><br>・公共的な空間における基本的原理である，民主主義，法の支配と立憲主義の意義について理解する。<br>・これらがなぜ公共的空間の基本原理とされるのか，また，それらを実現する上での課題について考察する。 | ・公共的な空間における基本的原理である，民主主義，法の支配と立憲主義，人間の尊厳と平等などの意義について理解させる。<br>・これらがなぜ公共的空間の基本原理とされるのか，また，それらを実現する上での課題について考察させる。<br>・教材及び一人1台端末の活用 | 【知識・技能】<br>・公共的な空間の基本的原理である民主主義，法の支配，立憲主義，平等などの意義について理解している。<br>・教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切に収集し,読み取っている。<br>【思考・判断・表現】<br>・学習主題について，多面的に考察し，表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・学習主題について，主体的に追究している。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | 第2部第1章　民主政治と私たち<br><br>・政治と民主主義，地方自治及び国会，内閣のしくみと役割，政治参加と選挙，政党と利益集団，メディアと世論について，民主政治の実現の観点から理解する。<br>・地方政治，国政に関する課題について，民主政治や民意の反映などの視点から解決に向けて考察し表現する。 | ・民主政治の基本原理を確認しながら，地方自治，国の政治のしくみについて理解させる。<br>・政治参加に関する模擬選挙その他の具体例から，政治参加の重要性を理解させる。<br>・教材及び一人1台端末の活用 | 【知識・技能】<br>・政治と民主主義，地方自治及び国会，内閣のしくみと役割，政治参加と選挙，政党と利益集団，メディアと世論について，民主政治の実現の観点から理解している。<br>・教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切に収集し,読み取っている。<br>【思考・判断・表現】<br>・学習主題について，多面的に考察し，表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・学習主題について，主体的に追究している。 | ○ | ○ | ○ | 9 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 第2部第2章　法の働きと私たち<br><br>・法や規範の意義と役割，法の成立と適用，市民生活における法と契約,消費者の権利と責任，司法のしくみと司法参加の意義などについて，社会生活とも関連させて理解する。<br>・法の意義と役割，消費者の権利と義務，司法参加などにかかわる課題について考察し表現する。 | ・法や規範の意義と役割，法の成立と適用，市民生活における法と契約,消費者の権利と責任，司法のしくみと司法参加の意義などについて，実際の社会生活の事象とも関連させながら理解させる。<br>・法の意義と役割，消費者の権利と義務，司法参加などにかかわる課題について考察させる。<br>・教材及び一人1台端末の活用 | 【知識・技能】<br>・法や規範の意義と役割，法の成立と適用，市民生活における法と契約，消費者の権利と責任，司法のしくみと司法参加の意義などについて，理解している。<br>・教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切に収集し,読み取っている。<br>【思考・判断・表現】<br>・学習主題について，多面的に考察し，表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・学習主題について，主体的に追究している。 | ○ | ○ | ○ | １１ |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 第3章　経済社会で生きる私たち<br><br>・経済活動の意義，市場経済のしくみと政府の役割，国民所得と経済成長，金融のしくみと働き，財政の働きと課題，社会保障の課題について，社会生活とも関連させながら理解する。<br>・経済のしくみや動向についての基礎的理解に立ち，経済政策，財政や金融政策，社会保障にかかわる課題について関心を持って考察する。 | ・経済活動，経済循環，市場経済と政府の役割，国民所得と経済成長，金融のしくみ，中央銀行の役割と金融環境，財政の働きと課題，社会保障の課題について，社会生活と関連させて理解させる。<br>・経済のしくみについての基礎的理解から，経済政策，財政や金融政策の課題，社会保障の課題について関心を持って考察しまとめさせる。<br>・教材及び一人1台端末の活用 | 【知識・技能】<br>・経済活動，経済循環，市場経済と政府の役割，国民所得と経済成長，金融のしくみ，中央銀行の役割と金融環境，財政の課題，社会保障の課題について理解している。<br>・教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切に収集し,読み取っている。<br>【思考・判断・表現】<br>・学習主題について，多面的に考察し，表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・学習主題について，主体的に追究している。 | ○ | ○ | ○ | １３ |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3学期 | 第2部第4章　私たちの職業生活<br>・労働契約，労働者の権利と労働法，雇用環境の変化と労働問題などについて，職業や労働のあり方とも関連付けて理解する。<br>・現代社会における職業の特性の理解の上に，職業選択を自らの課題として考察する。また， | ・労働契約，労働者の権利と労働法，雇用環境の変化と労働問題について，職業や労働のあり方とのかかわりも含めて理解させる。<br>・現代社会における職業特性の理解に立ち，職業選択を自らの課題として考察させる。<br>・教材及び一人1台端末の活用 | 【知識・技能】<br>・働くことの意義，労働市場の役割，職業選択のポイント，多様化するキャリア選択とキャリア形成の課題，労働契約，労働者の権利と労働法，雇用環境と労働問題について，理解している。<br>・教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切に収集し,読み取っている。<br>【思考・判断・表現】<br>・学習主題について，多面的に考察し，表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・学習主題について，主体的に追究している。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 第2部第5章　国際社会のなかで生きる私たち<br><br>・国際社会の成り立ち，国際連合の役割，平和主義と冷戦後の日本，国際紛争とその影響，国際平和に向けた課題，貿易と国際金融のしくみ，グローバル化と国際経済の諸課題について，実際の事象と関連させながら理解する。<br>・国際政治，国際経済にかかわる諸課題について多面的・多角的に考察する。 | ・国際社会の成り立ち，国際連合の役割，平和主義と冷戦後の日本，国際紛争とその影響，国際平和に向けた課題，貿易と国際金融のしくみ，グローバル化と国際経済の諸課題について，国際社会の事象と関連させて理解させる。<br>・国際政治，国際経済にかかわる諸課題について多面的・多角的に考察させる。<br>・教材及び一人1台端末の活用 | 【知識・技能】<br>・国際社会の成り立ち，国際連合の役割，平和主義と冷戦後の日本，国際紛争とその影響，国際平和に向けた課題，貿易と国際金融のしくみ，グローバル化と国際経済の諸課題について理解している。<br>・教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切に収集し,読み取っている。<br>【思考・判断・表現】<br>・学習主題について，多面的に考察し，表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・学習主題について，主体的に追究している。 | ○ | ○ | ○ | １０ |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 第3部　持続可能な社会づくりに参画するために<br><br>・現代社会の諸課題について，探究的な課題を設定し，課題解決に向けて必要な情報を収集して分析・考察する。<br>・探究の結果や自らの主張を論拠を明確にして説明する。 | ・課題設定の理由及び仮説を吟味させる。<br>・研究の構成を見通して，必要な資料の収集・整理を進めさせる。<br>・明確になったこと，ならなかったことを含めて研究の成果をまとめて表現させる。 | 【知識・技能】<br>・既習内容と関連付けて，課題解決に必要な事項を理解している。<br>・教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切に収集し,読み取っている。<br>【思考・判断・表現】<br>・学習主題について，多面的に考察し，表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・学習主題について，主体的に追究している。 | ○ | ○ | ○ | 2<br>合計<br>７０ |

年間授業計画　様式

# 高等学校 令和６年度　　教科　　数学　　科目 数学Ⅱ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅱ　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　2 年次　 1 組～　 5 組

教科担当者：（1～5組応用：北川）（1～4組標準：齊藤甲）（1～4組基礎，5組標準：早﨑）

使用教科書：（ 数研出版　新編数学Ⅱ　　）

教科　数学　　の目標：　数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】　数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目　数学Ⅱ　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 | 数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について，方程式を用いて図形を簡潔・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | A 単元<br>【知識及び技能】<br>・三次の乗法公式及び因数分解の公式，多項式の乗法・除法及び分数式の四則演算について理解する。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・二項定理をパスカルの三角形と結び付けて考察させる。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・既習の公式を用いて新たな公式を導くことができるよさに気が付かせる。 | 第１章　式と証明<br>第１節　式と計算<br>１．３次式の展開と因数分解<br>２．二項定理<br>３．多項式の割り算<br>４．分数式<br>５．恒等式 | 【知識・技能】<br>・３次式の展開・因数分解の公式を利用することができる。<br>・パスカルの三角形と二項定理の性質を理解している。<br>・多項式の割り算，分数式の約分・四則演算ができる。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・二項定理をパスカルの三角形と結びつけて，性質を考察している。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・既習事項を活用しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 14 |
| | B 単元<br>【知識及び技能】<br>・証明方法について理解させる。<br>・比例式から分数式の値の求め方を理解させる<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・どの証明方法が適切か考察させる。<br>・相加平均，相乗平均の関係性について考察させる。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・粘り強く試行することで，証明の見通しが持てることを感じさせる。 | 第１章　式と証明<br>第２節　等式・不等式の証明<br>１．等式の証明<br>２．不等式の証明 | 【知識・技能】<br>・式の証明方法を理解して証明することができる。<br>・比例式から分数式の値を求めることができる。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・どの証明方法が適切か判断することができる。<br>・相加平均，相乗平均について考察し，関係性を判断することができる。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・粘り強く試行し，解決の糸口をつかもうとすることができる。 | ○ | ○ | ○ | 11 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | C 単元<br>【知識及び技能】<br>・複素数の定義について理解させ，複素数の四則演算ができるようにする。<br>・複素数の範囲で，２次方程式を解くことができるようにする。<br>・剰余の定理，因数定理を理解させる。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・２次方程式の解について，複素数を用いて考察させる。<br>・高次方程式を１次方程式や２次方程式に帰着させる。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・実数でない数の世界に興味・関心をもたせる。 | 第２章　複素数と方程式<br>第１節　複素数と２次方程式の解<br>１．複素数とその計算<br>２．２次方程式の解<br>３．解と係数の関係<br><br>第２節　高次方程式<br>１．剰余の定理と因数定理<br>２．高次方程式 | 【知識・技能】<br>・複素数の定義を理解し，四則演算をすることができる。<br>・複素数の範囲で，２次方程式を解くことができる。<br>・剰余の定理や因数定理を利用して，高次方程式を解くことができる。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・２次方程式の解について，複素数を用いて考察することができる。<br>・高次方程式を低次の方程式の問題へ帰着させて捉えることができる。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・複素数について興味をもち，問題に取り組もうとしている。<br>・１の３乗根の性質に興味・関心をもち，問題に意欲的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 17 |
| | D 単元<br>【知識及び技能】<br>・２点間の距離，内分点・外分点の座標，条件を満たす直線の方程式を求めることができるようになる。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・図形を座標平面上で捉えたり，式で表現する。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・図形の問題を座標平面上で代数的に解決するよさを知る。 | 第３章　図形と方程式<br>第１節　点と直線<br>１．直線上，平面上の点<br>２．直線の方程式<br>３．２直線の関係 | 【知識・技能】<br>・２点間の距離，内分点・外分点の座標，条件を満たす直線の方程式を求めることができる。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・図形を座標平面上で捉えたり，式で表現することができる。　。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・図形の問題を座標平面上で代数的に解決するよさを知り，取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 15 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2学期 | D 単元<br>【知識及び技能】<br>・与えられた条件を満たす円の方程式や円と直線の共有点の座標，点の軌跡の求め方を理解できるようにする。<br>・不等式の表す領域を図示することができるようになる。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・平面上の点の軌跡を，座標平面を利用して考察する。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・図形の問題を座標平面上で代数的に解決するよさを知る。<br>・点が満たす条件から得られた方程式が図形を表すことに興味をもたせる。 | 第３章　図形と方程式<br>第２節　円<br>１．円の方程式<br>２．円と直線<br>３．２つの円<br><br>第３節　軌跡と領域<br>１．軌跡と方程式<br>２．不等式の表す領域 | 【知識・技能】<br>・与えられた条件を満たす円の方程式や円と直線の共有点の座標，点の軌跡の求め方を理解している。<br>・不等式の表す領域を図示することができる。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・平面上の点の軌跡を，座標平面を利用して考察することができる。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・図形の問題を座標平面上で代数的に解決するよさを知り，取り組もうとしている。<br>・点が満たす条件から得られた方程式がどのような図形を表しているかを考察しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 17 |
| | D 単元<br>【知識及び技能】<br>・弧度法の定義や，弧度法で表された角の三角関数の値の求め方，三角関数のグラフの書き方やその特徴，三角関数を含む２次方程式の解き方を理解する。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・単位円上の点の動きから，三角関数のグラフとその特徴を考察したり，三角関数を含む方程式・不等式を解く際に，単位円やグラフを図示して考察する。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・周期関数やその性質に興味をもち，三角関数の問題に意欲的に取り組む。 | 第４章　三角関数<br>第１節　三角関数<br>１．角の拡張<br>２．三角関数<br>３．三角関数のグラフ<br>４．三角関数の性質<br>５．方程式，不等式 | 【知識・技能】<br>・弧度法の定義を理解し，弧度法で表された角の三角関数の値を求めることができる。<br>・三角関数のグラフのかき方や周期の求め方，グラフの特徴を理解している。<br>・三角関数を含む２次方程式の解き方を理解している。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・単位円上の点の動きから，三角関数のグラフとその特徴を考察することができる。<br>・三角関数を含む方程式・不等式を解く際に，単位円やグラフを図示して考察することができる。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・周期関数に興味をもち，その性質を調べようとしたり，三角関数の問題に意欲的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 15 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | D 単元<br>【知識及び技能】<br>・加法定理や，2倍角・半角の公式を利用して，三角関数の値を求めることができるようになる，<br>・三角関数の合成について理解する。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・正接の定義と加法定理を利用して，２直線のなす角を考える。<br>・2倍角の公式を利用して，三角関数を含む複雑な方程式・不等式の角を統一して考察する。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・角を統一したり，三角関数を合成することで関数の種類を統一することができることのよさを知る。 | 第４章　三角関数<br>第２節　加法定理<br>１．加法定理<br>２．加法定理の応用 | 【知識・技能】<br>・加法定理や，2倍角・半角の公式を利用して，三角関数の値を求めることができる。<br>・三角関数の合成について理解している。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・正接の定義と加法定理を利用して，２直線のなす角を考えることができる。<br>・2倍角の公式を利用して，三角関数を含む複雑な方程式・不等式の角を統一して考察することができる。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・角を統一したり，三角関数を合成することで関数の種類を統一することができることに興味をもち，活用しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| | D 単元<br>【知識及び技能】<br>・累乗の計算，指数法則を利用した計算，累乗根の計算ができるようになる。<br>・指数関数のグラフの概形，特徴を理解する。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・指数関数の増減によって，大小関係や不等式・方程式を考察することができるようになる。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・点をプロットして，指数関数のグラフの概形をとらえる。 | 第５章　指数関数と対数関数<br>第１節　指数関数<br>１．指数の拡張<br>２．指数関数 | 【知識・技能】<br>・累乗の計算，指数法則を利用した計算，累乗根の計算をすることができる。<br>・指数関数のグラフの概形，特徴を理解している。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・指数関数の増減によって，大小関係や不等式・方程式を考察することができる。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・点をプロットして，指数関数のグラフの概形をとらえようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 11 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| ３学期 | D 単元<br>【知識及び技能】<br>・対数の定義を理解し，対数の性質を用いて，対数の値を求めることができるようになる。<br>・対数関数のグラフの概形や特徴を理解する。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・指数と対数との相互関係に着目し，書き換えられるようになる。<br>・指数と対数の関係から，グラフの対称性をとらえる。<br>・$n$桁の数，小数首位第$n$位の数を，不等式で表現することができるようになる。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・指数と対数との相互関係に興味をもつ。<br>数首位の問題に，対数を活用できるよさを知る。 | 第５章　指数関数と対数関数<br>第２節　対数関数<br>１．対数とその性質<br>２．対数関数<br>３．常用対数 | 【知識・技能】<br>・対数の定義を理解し，対数の性質を用いて，対数の値を求めることができる。<br>・対数関数のグラフの概形や特徴を理解している。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・指数と対数とを相互に書き換えることができる。<br>・指数と対数の関係から，グラフの対称性をとらえることができる。<br>・$n$桁の数，小数首位第$n$位の数を，不等式で表現することができる。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・指数と対数との相互関係に興味をもち，問題に意欲的に取り組もうとする。<br>・桁数や小数首位の問題に，対数を活用し取り組もうとする。 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| | D 単元<br>【知識及び技能】<br>・極限値，微分係数，平均変化率，接線の方程式を求める。<br>・関数の増減を調べ，増減表を書いたり，グラフをかく。<br>・定積分の計算方法を理解し，面積を定積分を用いて求める。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・接線の傾きと微分係数との関連を図形的に考察する。<br>・導関数を表す種々の記号を適切に使い，正しく表記できるようになる。<br>・接線の傾きから，関数の増減を判断する。<br>・面積を定積分で表す。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・極限値という新しい概念に興味をもち，取り組む。<br>・関数の概形をとらえることができることに興味をもち、グラフを正しくかこうとする。<br>・身近な問題を微分法を利用して解決できるよさや、面積を定積分で求められるよさを知る。 | 第６章　微分法と積分法<br>第１節　微分係数と導関数<br>１．微分係数<br>２．導関数とその計算<br>３．接線の方程式<br><br>第２節　関数の値の変化<br>１．関数の増減と極大・極小<br>２．増減・グラフの応用<br><br>第３節　積分法<br>１．不定積分<br>２．定積分<br>３．定積分と面積 | 【知識・技能】<br>・極限値，微分係数，平均変化率，接線の方程式を求めることができる。<br>・関数の増減を調べ，増減表を書いたり，グラフをかいたりすることができる。<br>・定積分の計算方法を理解し，面積を定積分を用いて求めることができる。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・接線の傾きと微分係数との関連を図形的に考察することができる。<br>・導関数を表す種々の記号を適切に使い，正しく表記することができる。<br>・接線の傾きから，関数の増減を判断することができる。<br>・面積を定積分で表すことができる。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・極限値という新しい概念に興味をもち，取り組もうとしている。<br>・関数の概形をとらえることができることに興味をもち、グラフを正しくかこうとしている。<br>・身近な問題を、微分法を利用して解決しようとしている。<br>・面積を定積分で求められるとに興味をもち、意欲的に取り組もうとする。 | ○ | ○ | ○ | 24 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | 合計 | |
| | | | | | | 140 | |

年間授業計画　様式

# 高等学校 令和６年度　　教科　　理科　　科目　　物理基礎

教　科：　理科　　科　目：　物理基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 年次　1 組～　5 組

教科担当者：　（1組～5組：富樫　孝介　㊞　）

使用教科書：（　第一学習社　高等学校新物理基礎　）

教科　理科　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，現象などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

科目　物理基礎　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 様々な物理量について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。<br>また，様々な物理学に関する観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身につけている。 | 様々な物理学に関する自然現象や科学現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。 | 日常生活や社会との関連を図りながら物理学について関心をもち，意欲的に探究しようとするとともに，科学的な見方や考え方を身に付けている。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | A　１章　物体の運動<br>　１節　運動の表し方<br>【知識及び技能】<br>・運動の表し方を理解する。<br>・速さの定義を理解し、等速直線運動について知る。<br>・速度と速さの違いを学ぶ。<br>・速度の合成や相対速度を学習する。<br>・加速度の定義を理解する。<br>・等加速度直線運動の基本公式を使う。<br>・落下運動について学習する。<br>・投げ上げ運動や射方投射などの運動を理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・等速直線運動をグラフを用いて理解する。<br>・等加速度直線運動をグラフを用いて理解する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>等加速度直線運動の実験を通じ、理解を深め、グラフや表を積極的に利用する。 | ・速さと等速直線運動<br>・直線運動の加速度<br>・一人１台端末の活用<br>・加速度の実験<br>・落体の運動 | 【知識・技能】<br>・運動の表し方に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身につけている。<br>・速さの定義、等速直線運動について理解し，知識として身につけている。。<br>・加速度に関して観察，実験を行い，それらに関する技能を習得し，それらの測定結果から等加速度直線運動について考察できる。<br>・落体の運動を理解し、知識として身についている。<br>【思考・判断・表現】<br>・等速直線運動をグラフを用いて変位と時間の関係を推論できる。<br>・速度と速さの違いや速度の合成や相対速度について向きや変位について論理的，総合的に判断できる。<br>落体の運動と等加速度直線運動を関連づけて論理的、総合的に判断できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・物体の運動に関心をもち，等速直線運動や等加速度直線運動、落体の運動などを探究しようとしている。<br>・合成速度、相対速度について，運動の向きと関連付けて探究しようとする。 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | B　１章　物体の運動<br>　２節　力と運動の法則<br>【知識及び技能】<br>・力の表し方や力の３要素について理解する。<br>・力の単位を学習する。<br>・つり合いについて理解する。<br>・フックの法則を学ぶ。<br>・作用・反作用について知る。<br>・慣性の法則について学習する。<br>・力と加速度の関係について理解する。<br>・質量と加速度の関係を学習する。<br>・運動方程式を学ぶ。<br>・水平上や斜面上の物体の運動について学習する。<br>・摩擦力について学ぶ。<br>・水圧や大気圧などから圧力について学習する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>運動方程式を力の向きや合力を考えて理解することができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>力の合力の実験を自ら進んで取り組むことができる。<br>水圧や大気圧の実験を自ら進んで取り組むことができる。 | ・力のつり合い<br>・運動の法則<br>・運動方程式。<br>・水平上や斜面上の物体の運動<br>・摩擦力<br>・水圧や大気圧<br>・一人１台端末の活用<br>・加速度と力の関係の実験 | 【知識・技能】<br>・力のつり合いに関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身につけている。<br>・運動の法則、運動方程式について理解し，知識として身につけている。。<br>・加速度と力の関係に関する観察，実験を行い，それらに関する技能を習得し，それらの測定結果から運動方程式について考察できる。<br>・水平上や斜面上の運動、摩擦力や水圧、大気圧について理解し、知識として身についている。<br>【思考・判断・表現】<br>・力のつり合い、運動方程式を作図を用いて水平面上や斜面上の運動を推論できる。<br>・力のつり合い、運動方程式について論理的，総合的に判断できる。<br>摩擦力や水圧、大気圧を力のつり合いや運動方程式に関連づけて論理的、総合的に判断できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・力と運動の法則に関心をもち，運動方程式などを探究しようとしている。<br>・力につり合いについて，向きと大きさに関連付けて探究しようとする。 | ○ | ○ | ○ | 15 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 2章　エネルギー<br>　1節　運動とエネルギー<br><br>・仕事の定義を理解する。<br>・仕事率について知る。<br>・運動エネルギーや位置エネルギーを学び、力学的エネルギーが保存することを理解する。<br>・弾性エネルギーについて学習する。<br>・振り子の運動について理解する。 | ・仕事<br>・運動エネルギーと位置エネルギー<br>・力学的エネルギーとその保存<br>・一人１台端末の活用<br>・力学的エネルギーの実験 | 【知識・技能】<br>・仕事に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身につけている。<br>・運動エネルギー、位置エネルギーについて理解し，知識として身につけている。。<br>・力学的エネルギーに関する観察，実験を行い，それらに関する技能を習得し，それらの測定結果から力学的エネルギーの保存について考察できる。<br>【思考・判断・表現】<br>・力学的エネルギーを図を用いて速さや高さを推論できる。<br>・力学的エネルギーの保存について論理的，総合的に判断できる。<br>仕事をエネルギーに関連づけて論理的、総合的に判断できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・力学的エネルギーに関心をもち，運動エネルギーや位置エネルギーなどを探究しようとしている。<br>・仕事について，仕事率に関連付けて探究しようとする。 | ○ | ○ | ○ | 14 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 2章　エネルギー<br>　2節　熱<br>・熱現象は原子・分子の乱雑な運動である熱運動によって引き起こされていることを理解する。<br>・物質の三態には熱の出入りが伴うことを学ぶ。<br>・熱容量や比熱について学習する。<br>・熱力学第一法則を理解する。<br>・熱現象の不可逆性から熱力学第二法則を理解し、熱機関や熱効率についても学習する。<br><br>3章　波<br>　1節　波とは何か<br>・波の性質について理解する。<br>・振動と周期の関係や波の速さの式を学習する。<br>・横波と縦波の違いや重ね合わせの原理について知る。<br>　2節　音波<br>・音波の速さやうなりについて学習する。 | ・熱と温度<br>・熱の利用<br>・波の性質<br>・音と振動<br>・一人１台端末の活用<br>・熱と温度の実験 | 【知識・技能】<br>・熱に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身につけている。<br>・熱の利用について理解し，知識を身につけている。<br>・波の性質に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識として身につけている。<br>・音と振動について理解し、知識を身につけている。<br>・熱と温度に関する観察，実験を行い，それらに関する技能を習得し，それらの測定結果から熱量の保存について考察できる。<br>【思考・判断・表現】<br>・波の性質を図を用いて速さや周期、振動数を推論できる。<br>・熱量の保存について論理的，総合的に判断できる。<br>音を波と関連づけて論理的、総合的に判断できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・熱に関心をもち，熱量の保存や熱力学第一法則などを探究しようとしている。<br>・音について，波に関連付けて探究しようとする。 | ○ | ○ | ○ | 14 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3学期 | 4章　電気<br>　1節　物質と電流<br>・自由電子が電流を担うことを知り、電圧や抵抗の関係についてオームの法則を学習する。<br>・直列や並列の場合の合成抵抗を求め、物質の長さや断面積と抵抗率の関係を学習する。<br>・抵抗のある導線を流れる電流はジュール熱が発生することを知り、ジュールの法則を学習する。また電力量や消費電力についても学習する。<br><br>　2節　磁場と電流<br>・磁石や電流の周りに磁界や磁力線が発生すること理解する。<br>・電流は磁界を発生させることを知り、電磁誘導や誘導起電力、誘導電流について学習する。<br>・交流と直流の違いを知り、交流は電磁誘導を利用した変圧器で電圧を変換できることを学習する。またその際にコイルの巻き数比が電圧非に等しいことも理解する。<br>・電磁波は電場と磁場の振動現象であることを知り、その速さは光速で一定であることを学習する。また波長（周波数）によって電磁波は固有の名称がつけられており、身の回りのさまざまな場面で役に立っていることを知る。<br><br>5章　物理と社会<br>　1節　エネルギーとその利用<br>・力学的エネルギーや電気エネルギー、熱エネルギー、光エネルギー、化学エネルギー、核エネルギーなどのさまざまなエネルギーの形態について知り、それらのエネルギーは変換できることやエネルギーは保存することを学習する。 | ・電流と電気抵抗<br>・交流と電磁波<br>・さまざまなエネルギー<br>・エネルギーの利用<br>・一人１台端末の利用<br>・オームの法則の実験 | 【知識・技能】<br>・電気に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身につけている。<br>・オームの法則について理解し，知識を身につけている。<br>・磁気に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識として身につけている。<br>・交流について理解し、知識を身につけている。<br>・様々なエネルギーに関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識として身につけている。<br>・オームの法則に関する観察，実験を行い，それらに関する技能を習得し，それらの測定結果からオームの法則について考察できる。<br>【思考・判断・表現】<br>・オームの法則や電気回路を図を用いて電流や電圧、抵抗を推論できる。<br>・交流について論理的，総合的に判断できる。<br>・様々なエネルギーを社会と関連づけて論理的、総合的に判断できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・電磁気に関心をもち，オームの法則やフレミングの左手の法則、右ねじの法則などを探究しようとしている。<br>・エネルギーについて，社会に関連付けて探究しようとする。 | ○ | ○ | ○ | 14 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1<br>75 |

年間授業計画　新様式

# 高等学校 令和６年度　　教科　保健体育　　科目 体育

教　科：保健体育　　科　目：　体育　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 年次　1 組～　5 組

教科担当者：（１・２組：３・４組：５組：浅野結香㊞、 小久保優㊞、小森悠希㊞、本村雄㊞ 長野瑞央㊞ ）

使用教科書：（ 新高等保健体育（大修館書店）　　）

教科　保健体育　の目標：　体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】　各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに，技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　運動や健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　体育　の目標：　体育の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに，自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 運動の合理的，計画的な実践を通して，運動の楽しさや喜びを深く味わい，生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため，運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに，それらの技能を身に付けるようにする。 | 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 | 運動における競争や協働の経験を通して，公正に取り組む，互いに協力する，自己の責任を果たす，参画する，一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに，健康・安全を確保して，生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 球技（アルティメット）男女共習　選択制<br><br>【知識及び技能】<br>勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ゴール型では，安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保すること。 | ・指導事項<br>キャッチボール<br>捕球<br>送球<br>ルール理解<br>フォアハンドスロー<br>バックハンドスロー<br>チーム練習<br>試合<br>技能テスト<br><br>・一人一台端末の映像による自分の動作確認等 | 知識・技能】<br>・技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解している。 ゴール型では，安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 球技（バドミントン）女子 男女共習　選択制<br>【知識及び技能】<br>勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ネット型では，役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保すること。 | ・指導事項<br>各種フライト<br>ルール理解<br>戦術理解<br>チーム練習<br>試合<br>技能テスト<br>・一人１台端末の活用<br>フライトの打ち方の確認振り返り等 | 【知識・技能】<br>・技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解している。 ネット型では，役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 球技（テニス）女子 男女共習　選択制<br>【知識及び技能】<br>勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ネット型では，役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保すること。 | ・指導事項<br>ストローク<br>サービス<br>ボレー<br>ルール理解<br>戦術理解<br>試合<br>技能テスト<br>・一人１台端末の活用<br>打ち方の確認振り返り等 | 【知識・技能】<br>・技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解している。 ネット型では，役割に応じたボール操作や安定した用具の<br>操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 球技（ソフトボール）女子　別習<br>【知識及び技能】<br>勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ベースボール型では，安定したバット操作と走塁での攻撃，ボール操作と連携した守備などによって攻防をすること。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み<br>方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保すること。 | ・指導事項<br>キャッチボール<br>捕球<br>送球<br>ルール理解<br>トスバッティング<br>シートバッティング<br>試合<br>技能テスト<br>・一人１台端末の活用<br>打ち方の確認振り返り等 | 【知識・技能】<br>技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法など<br>について理解している。ベースボール型では，安定したバット操作と走塁での攻撃，ボール操作と連携した守備などによって攻防をすること。<br><br>【思考・判断・表現】<br>攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。 | ○ | ○ | | 8 |
| | 球技（バレーボール）男子<br>【知識及び技能】<br>勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ネット型では，役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保すること。<br>と。 | ・指導事項<br>アンダーハンドパス<br>オーバーハンドパス<br>連続パス<br>フローターサーブ<br>アンダーハンドパス<br>三段攻撃練習<br>試合<br>技能テスト<br>・一人１台端末の活用<br>打ち方の確認振り返り等 | 【知識・技能】<br>・技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解している。 ネット型では，役割に応じたボール操作や安定した用具の<br>操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること， 一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 水泳　習熟度別<br>【知識及び技能】<br>次の運動について，記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，効率的に泳ぐこと。ア クロールでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。イ 平泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。ウ 背泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで泳ぐこと。<br>エ バタフライでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで泳ぐこと。オ 複数の泳法で泳ぐこと，又はリレーをすること。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>泳法などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えること。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>水泳に自主的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。 | ・指導事項<br>けのび<br>クロール<br>平泳ぎ<br>呼吸法<br>プル・プッシュ<br>リレー<br>スタート<br>測定会<br>技能テスト<br>・一人一台端末の映像による自分の動作確認等 | 【知識・技能】<br>技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解している。・クロールでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。<br>・平泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。<br>・背泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで泳ぐことができる。・バタフライでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで泳ぐことができる。。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・泳法などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>水泳に自主的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり，水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 球技（ソフトボール）男子　別習<br>【知識及び技能】<br>勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ベースボール型では，安定したバット操作と走塁での攻撃，ボール操作と連携した守備などによって攻防をすること。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み<br>方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保すること。 | ・指導事項<br>キャッチボール<br>捕球<br>送球<br>ルール理解<br>トスバッティング<br>シートバッティング<br>試合<br>技能テスト<br>・一人１台端末の活用<br>打ち方の確認振り返り等 | 【知識・技能】<br>技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法など<br>について理解している。ベースボール型では，安定したバット操作と走塁での攻撃，ボール操作と連携した守備などによって攻防をすること。<br><br>【思考・判断・表現】<br>攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | 球技（バレーボール）女子<br>【知識及び技能】<br>勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ネット型では，役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保すること。<br>と。 | ・指導事項<br>アンダーハンドパス<br>オーバーハンドパス<br>連続パス<br>フローターサーブ<br>アンダーハンドパス<br>三段攻撃練習<br>試合<br>技能テスト<br>・一人１台端末の活用<br>打ち方の確認振り返り等 | 【知識・技能】<br>・技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解している。 ネット型では，役割に応じたボール操作や安定した用具の<br>操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 球技（バスケットボール）男女共習　選択制<br><br>【知識及び技能】<br>勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ゴール型では，安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保すること。 | ・指導事項<br>シュート<br>パス<br>ドリブル<br>オフェンス<br>ディフェンス<br>３on３<br>試合<br>技能テスト<br>一人１台端末の活用<br>シュートフォーム等の確認振り返り等 | 【知識・技能】<br>【知識・技能】<br>・技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解している。 ゴール型では，安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | 球技（テニス）　男女共習　選択制<br>【知識及び技能】<br>勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ネット型では，役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保すること。 | ・指導事項<br>ストローク<br>サービス<br>ボレー<br>ルール理解<br>戦術理解<br>試合<br>技能テスト<br>・一人１台端末の活用<br>打ち方の確認振り返り等 | 【知識・技能】<br>・技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解している。 ネット型では，役割に応じたボール操作や安定した用具の<br>操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 球技（卓球）　男女共習　選択制<br>【知識及び技能】<br>勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ネット型では，役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保すること。 | ・指導事項<br>ストローク<br>サービス<br>ボレー<br>ルール理解<br>戦術理解<br>試合<br>技能テスト<br>・一人１台端末の活用<br>打ち方の確認振り返り等 | 【知識・技能】<br>・技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解している。 ネット型では，役割に応じたボール操作や安定した用具の<br>操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | 水泳　習熟度別<br>【知識及び技能】<br>次の運動について，記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，効率的に泳ぐこと。ア クロールでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。イ 平泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。ウ 背泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで泳ぐこと。<br>エ バタフライでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで泳ぐこと。オ 複数の泳法で泳ぐこと，又はリレーをすること。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>泳法などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えること。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>水泳に自主的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること | ・指導事項<br>けのび<br>クロール<br>平泳ぎ<br>呼吸法<br>プル・プッシュ<br>リレー<br>スタート<br>測定会<br>技能テスト<br>・一人一台端末の映像による自分の動作確認等 | 【知識・技能】<br>技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解している。・クロールでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。<br>・平泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。<br>・背泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで泳ぐことができる。・バタフライでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで泳ぐことができる。。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・泳法などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>水泳に自主的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり，水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 体つくり運動<br>【知識及び運動】<br>次の運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを味わい，運動を継続する意義，体の構造，運動の原則などを理解するとともに，健康の保持増進や体力の向上を目指し，目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>体つくり運動に自主的に取り組むとともに，互いに助け合い教え合おうとすること，一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること，話合いに貢献しようとすることなどや，健康・安全を確保すること。 | 基礎事項<br>体ほぐしの運動<br>体力を高める運動 | 【知識・技能】<br>運動を継続する意義，体の構造，運動の原則などについて理解している。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>体つくり運動に自主的に取り組むとともに，互いに助け合い教え合おうとすること，一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること，話合いに貢献しようとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| 3学期 | 陸上競技（長距離走）男女<br>【知識及び技能】<br>次の運動について，記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，各種目特有の技能を身に付けること。短距離走・リレーでは，中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めること，長距離走では，自己に適したペースを維持して走ること，ハードル走では，スピードを維持した走りからハードルを低く越すこと。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>動きなどの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えること。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>陸上競技に自主的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保すること。 | ・指導事項<br>長距離走<br>スタート<br>中間疾走<br>フィニッシュ<br>時間走<br>周回走<br>測定 | 【知識・技能】<br>・技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解している。長距離走では，自己に適したペースを維持して走ることができる。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・動きなどの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>陸上競技に自主的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。 | ○ | ○ | ○ | (11) |
| | 体育理論<br>【知識及び技能】<br>スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について，課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えること。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。 | 基礎事項<br><br>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展<br>(ｱ) スポーツの歴史的発展と多様な変化<br>(ｲ) 現代のスポーツの意義や価値<br>(ｳ) スポーツの経済的効果と高潔さ<br>(ｴ) スポーツが環境や社会にもたらす影響 | 【知識】<br>スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について，課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | | | | | | | 合計<br>70 |

年間授業計画　様式

# 高等学校 令和６年度　　教科　保健体育　　科目 保健

教　科：　保健体育　　科　目：　保健　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　2 年次　1 組～　5 組

教科担当者：（１組：長野　）　（２組：長野　）　（３組：長野　）　（４組：長野　）　（５組：長野　）

使用教科書：（ 新高等保健体育　（大修館/保体７０２）　　）

教科　保健体育　の目標：　体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】　各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに，技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　運動や健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　保健　の目標：　保健の見方・考え方を働かせ，合理的，計画的な解決に向けた学習過程を通して，生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し，改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに，技能を身に付けるようにする。 | 健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 | 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 第３章　生涯を通じる健康<br><br>【知識及び技能】<br>・生涯を通じる健康の保持増進や回復には，生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。<br>・労働災害の防止には，労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解している。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し，健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに，それらを表現している。<br><br>【主体的に取り組む態度】<br>・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。 | １・思春期と健康<br>２・性意識の変化と性行動の選択<br>３・結婚生活と健康<br>４・妊娠・出産と健康<br>５・家族計画<br>６・加齢と健康<br>７・高齢社会に対応した取り組み<br>定期考査 | 【知識及び技能】<br>①思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面，心理面，行動面などの変化に関わり，健康課題が生じることがあることを理解している。<br>②結婚生活について，心身の発達や健康の保持増進の観点から受精，妊娠，出産とそれに伴う健康課題について理解している。また，家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解している。<br>③中高年期には健康診断の定期的な受診などの自己管理・生きがいをもつ・運動やスポーツに取り組む・家族や友人などとの良好な関係を保つ・地域における交流をもつことが健やかに過ごすために必要であることを理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>①思春期における心身の発達や健康課題について自他や社会の課題を発見している。<br>②結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進について自他や社会の課題を発見している。<br>③中高年期の健康課題について自他や社会の課題を発見している。<br>【主体的に取り組む態度】<br>①学習に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 11 |
| 2学期 | | ８・働くことと健康<br>９・労働災害の防止<br>１０・働く人の健康づくり | 【知識及び技能】<br>①労働による傷害や職業病などの労働災害は，作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことを理解している。また，労働災害を防止するには，作業形態や作業環境の改善，長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることを理解している。また、働く人の健康の保持増進は，職場の健康管理や安全管理とともに，心身両面にわたる総合的，積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを理解している。<br>②人間の生活や産業活動は，大気汚染，水質汚濁，土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし，健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて理解している。<br>④健康への影響や被害を防止するためには，汚染物質の排出をできるだけ抑制したり，排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて理解している。<br>③上下水道の整備，ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は，自然環境や学校・地域などの社会生活における環境，及び人々の健康を守るために行われていることについて理解している。<br>④人々の健康を支えるためには，食品の安全性を確保することが重要であり，食品の安全性が損なわれると，健康に深刻な被害をもたらすことがあり，食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて理解している。また、食品の安全性を確保するために，食品衛生法などの法律等が制定されており，様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや，食品の製造・加工・保存・流通など，各段階での適切な管理が重要であることについて理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>①健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し，疾病等のリスクの軽減，生活の質の向上，健康を支える環境づくりなどと，解決方法を関連付けて考え，適切な整備や活用方法を選択し，それらを説明している。<br>【主体的に取り組む態度】<br>①学習に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| | 第４章　健康を支える健康づくり<br><br>【知識及び技能】<br>環境の汚染と健康，環境と健康に関わる対策，環境衛生に関わる活動について，理解している。<br><br>【思考・判断・表現】<br>健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し，疾病等のリスクの軽減，生活の質の向上，健康を支える環境づくりなどと，解決方法を関連付けて考え，適切な整備や活用方法を選択し，それらを説明することができるようにする。<br><br>【主体的に取り組む態度】<br>健康を支える健康づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。 | １・大気汚染と健康<br>２・水質汚濁・土壌汚染と健康<br>３・健康健康被害を防ぐための環境対策<br>４・環境衛生に関わる活動<br>５・食品の安全性と健康<br>６・食品の安全性を確保する取り組み<br>定期考査 | | | | | |
| 3学期 | | ７・保健制度とその活用<br>８・医療制度とその活用<br>９・医薬品の制度とその活用<br>１０・様々な保健活動や対策<br>１１・誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり<br>定期考査 | 【知識及び技能】<br>①我が国には，人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し，行政及びその他の機関などから健康に関する情報，医療の供給，医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて理解している。<br>②健康を保持増進するためには，検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し，地域の保健所や保健センターなどの保健機関，病院や診療所などの医療機関，及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて理解している。<br>③我が国や世界では，健康を支えるために，健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>①健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し，疾病等のリスクの軽減，生活の質の向上，健康を支える環境づくりなどと，解決方法を関連付けて考え，適切な整備や活用方法を選択し，それらを説明することができる。<br>【主体的に取り組む態度】<br>①学習に関心を持ち、主体的に取り組もうとする。 | ○ | ○ | ○ | 11<br>合計３５ |

年間授業計画 新様式

# 高等学校 令和６年度　教科　外国語　科目 英語コミュニケーションⅡ

教　科：　外国語　　科　目：　英語コミュニケーションⅡ　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　2 年次　1 組～　5 組

教科担当者：（　応用：齊藤　）（　標準：塚野　）（　基礎：樋口　）

使用教科書：（ Power On English communicationⅡ　　）

教科　外国語　の目標：

【知識及び技能】　外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】　コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的は話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。

【学びに向かう力、人間性等】　外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

科目　英語コミュニケーションⅡ　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【主体的に取り組む態度】 |
|---|---|---|
| 日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手や、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 | 日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 | 日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理に注意して話して伝え合ったりすることができる。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 聞 | 読 | 話［や］ | 話［発］ | 書 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | Lesson 1<br>Play me,<br>I’m Yours<br>［題材内容］<br>ストリートピアノについてのテレビレポートを読み取る | ・文法理解<br>助動詞＋動詞の原形，受け身，S＋V［be 動詞以外］＋C<br>・一人１台端末の活用 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】助動詞＋動詞の原形，受け身，S＋V［be 動詞以外］＋Cを用いた文の形・意味・用法を理解している。<br>日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて，助動詞＋動詞の原形，受け身，S＋V［be 動詞以外］＋Cなどの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，ストリートピアノがどのような経緯で設置されたたかについて，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。<br><br>【思考・判断・表現】<br>日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】】<br>日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | Lesson 2<br>Ethical Fashion | ［題材内容］<br>現代のファッション業界についてのニュース記事。ファストファッションの問題点やエシカルファッションについて考える。<br>［言語材料］<br>S＋V＋O＋C［形容詞］，S＋V［使役］＋O＋C［原形不定詞］，S＋V［知覚］＋O＋C［現在分詞，原形不定詞］<br>［言語の働き］<br>説明する，理由を述べる，紹介する，発表する | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 1学期中間考査 | | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | 1 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | Lesson 3<br>One for All, All for One | 題材内容]<br>ラグビー選手のリーチ・マイケル選手へのインタビュー<br>［言語材料］<br>現在完了形，過去完了形，仮定法過去のif 節<br>［言語の働き］<br>質問する，説明する，紹介する，感謝する | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ［知識］現在完了形，過去完了形，仮定法過去のif 節を用いた文の形・意味・用法を理解している。<br>［技能］ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について，現在完了形，過去完了形，仮定法過去のif 節などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，自分の好きなスポーツ選手や有名人について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。<br>【思考・判断・表現】<br>ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の好きなスポーツ選手や有名人について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】】<br>ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の好きなスポーツ選手や有名人について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | Lesson 4<br>Vending Machines | ［題材内容］<br>日本の自動販売機，海外の自動販売機についてのオンライン記事<br>［言語材料］<br>関係代名詞（主格），関係代名詞の非制限用法，関係代名詞（目的格）<br>［言語の働き］<br>説明する，紹介する，意見を述べる，発表する，質問する | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ［知識］関係代名詞（主格），関係代名詞の非制限用法，関係代名詞（目的格）を用いた文の形・意味・用法を理解している。<br>［技能］日本と海外の自動販売機について，関係代名詞（主格），関係代名詞の非制限用法，関係代名詞（目的格）などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，海外のユニークな自動販売機について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。<br>【思考・判断・表現】<br>日本と海外の自動販売機について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，海外のユニークな自動販売機について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】】<br>日本と海外の自動販売機について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，海外のユニークな自動販売機について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 1学期期末考査 | | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | 1 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | Lesson 5<br>Design for Connecting Society: Braille Neue ［題材内容］<br>ユニバーサルデザインのフォント，ブレイルノイエとその開発者の高橋鴻介氏へのインタビューについての雑誌記事 | ［言語材料］<br>助動詞＋受け身，S＋V＋C［分詞］，S＋V＋O［if節］，It seems［appears］＋that節<br>［言語の働き］<br>質問する，説明する，例示する，提案する，発表する | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ［知識］助動詞＋受け身，S＋V＋C［分詞］，S＋V＋O［if節］，It seems［appears］＋that節を用いた文の形・意味・用法を理解している。<br>［技能］ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について，助動詞＋受け身，S＋V＋C［分詞］，S＋V＋O［if節］，It seems［appears］＋that節などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，ブレイルノイエの利点と活用方法について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。<br><br>【思考・判断・表現】<br>ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，ブレイルノイエの利点と活用方法について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】】<br>ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，ブレイルノイエの利点と活用方法について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | Lesson 6<br>New Banknotes | ［題材内容］<br>2024年に新しく発行される紙幣にまつわる話やキャッシュレス化についてのオンライン記事<br>［言語材料］<br>It＋is［was］＋said＋that 節，形式目的語itとthat 節，形式目的語itとto 不定詞，助動詞＋have＋過去分詞<br>［言語の働き］<br>説明する，意見を述べる，賛成する，反対する，理由を述べる，発表する，質問する | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ［知識］It＋is［was］＋said＋that 節，形式目的語itとthat 節，形式目的語itとto 不定詞，助動詞＋have＋過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。<br>［技能］新紙幣とキャッシュレス社会について，It＋is［was］＋said＋that 節，形式目的語itとthat 節，形式目的語itとto 不定詞，助動詞＋have＋過去分詞などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，キャッシュレス社会の長所・短所について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。<br><br>【思考・判断・表現】<br>新紙幣とキャッシュレス社会について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，キャッシュレス社会の長所・短所について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】】<br>新紙幣とキャッシュレス社会について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，キャッシュレス社会の長所・短所について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 9 |
| | 2学期中間考査 | | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | 1 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | Lesson 7<br>Some Secrets about Colors | ［題材内容］<br>色が私たちに与える影響や色のもつ心理的効果についての論説文<br>［言語材料］<br>関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞that，　前置詞＋関係代名詞，関係副詞whereの非制限用法<br>［言語の働き］<br>説明する，提案する，理由を述べる，意見を述べる，質問する | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ［知識］関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞that，　前置詞＋関係代名詞，関係副詞whereの非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解している。<br>［技能］色の心理的効果について，関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞that，　前置詞＋関係代名詞，関係副詞whereの非制限用法などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。<br>【思考・判断・表現】<br>色の心理的効果について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】】<br>色の心理的効果について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | Lesson 8<br>Powdered Natto Solves a Global Water Problem | ［題材内容］<br>小田兼利博士が開発した納豆パウダーの誕生秘話と世界へ広がる様子についての論説文<br>［言語材料］<br>強調構文，強調の助動詞do，直前の文を先行詞とする関係代名詞which，to＋have＋過去分詞<br>［言語の働き］<br>説明する，紹介する，描写する，注意をひく，勧める | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ［知識］強調構文，強調の助動詞do，直前の文を先行詞とする関係代名詞which，to＋have＋過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。<br>［技能］納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや，発展途上国への影響について，強調構文，強調の助動詞do，直前の文を先行詞とする関係代名詞which，to＋have＋過去分詞などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，納豆パウダーという製品の利点などについて，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。<br>【思考・判断・表現】<br>納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや，発展途上国への影響について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，納豆パウダーという製品の利点などについて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】】<br>納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや，発展途上国への影響について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，納豆パウダーという製品の利点などについて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 9 |
| | 2学期期末考査 | | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | 1 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | Lesson 9<br>Flying after Her Dreams | ［題材内容］<br>アメリカで黒人女性初のパイロットとなったベシー・コールマンの伝記<br>［言語材料］<br>譲歩を表す副詞節，no matter how［where，when］（※要修正反映），仮定法過去完了，分詞構文（過去分詞）<br>［言語の働き］<br>質問する，説明する，理由を述べる | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ［知識］譲歩を表す副詞節，no matter how［where，when］（※要修正反映），仮定法過去完了，分詞構文（過去分詞）を用いた文の形・意味・用法を理解している。<br>［技能］黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について，譲歩を表す副詞節，no matter how［where，when］（※要修正反映），仮定法過去完了，分詞構文（過去分詞）などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。<br><br>【思考・判断・表現】<br>黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】】<br>黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 9 | |
| | Lesson 10<br>To Work or Not to Work?:<br>Humans and Robots | ［題材内容］<br>日本が誇るロボットやロボットの労働などについての論説文<br>［言語材料］<br>過去完了進行形，be＋to 不定詞，未来完了形，insist など＋that＋S＋V［動詞の原形］<br>［言語の働き］<br>説明する，発表する，提案する，予想する，意見を述べる，理由を述べる | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ［知識］過去完了進行形，be＋to 不定詞，未来完了形，insist など＋that＋S＋V［動詞の原形］を用いた文の形・意味・用法を理解している。<br>［技能］各種のロボットやロボットの労働内容の変化について，過去完了進行形，be＋to 不定詞，未来完了形，insist など＋that＋S＋V［動詞の原形］などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。<br>【思考・判断・表現】<br>各種のロボットやロボットの労働内容の変化について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】】<br>各種のロボットやロボットの労働内容の変化について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 10<br><br>合計<br>89 | |
| | 学年末考査 | | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | 1 | |

年間授業計画　様式

# 高等学校 令和６年度　　教科　　外国語　　科目 論理と表現Ⅱ

教　科：　外国語　　科　目：　論理と表現Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 年次　1 組～　5 組

教科担当者：（応用：土肥）　（標準：齋藤）　（基礎：石井）

使用教科書：（ MY WAY Logic and ExpressionⅠ,MY WAY Logic and ExpressionⅡ（三省堂）

教科　外国語　　の目標：

| | |
|---|---|
| 【知識及び技能】 | 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。<br>外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 |
| 【思考力、判断力、表現力等】 | コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的は話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |

科目　論理と表現Ⅱ　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 大学入試共通テスト対策として、ネイティブの英語を聞いてリスニング力の向上をしつつ、様々な場面での英語表現を理解する | 日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 | 演習を交えつつ、基礎基本の文法を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にしつつ、会話や英作文、プレゼンテーションなどの活動で自らの考えや意見を表現できるようにする。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | A 単元　Lesson 6　不定詞<br>【知識及び技能】<br>大学入試共通テスト対策として、ネイティブの英語を聞いてリスニング力の向上をしつつ、様々な場面での英語表現を理解する<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、<br>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、<br>気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>演習を交えつつ、基礎基本の文法を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にしつつ、会話や英作文、プレゼンテーションなどの活動で自らの考えや意見を表現できるようにする。 | ・指導事項<br>クラスの生徒全員が授業についていけるように、机間指導を細かく行い、生徒の苦手なところは全体に共有する。<br>・教材　MY WAY Logic and ExpressionⅠ,MY WAY Logic and ExpressionⅡ（三省堂）<br>・一人１台端末の活用 | 【知識・技能】<br>大学入試共通テスト対策として、ネイティブの英語を聞いてリスニング力の向上をしつつ、様々な場面での英語表現を理解している<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、<br>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、<br>気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>演習を交えつつ、基礎基本の文法を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にしつつ、会話や英作文、プレゼンテーションなどの活動で自らの考えや意見を表現できている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | A 単元　Lesson 7　動名詞<br>【知識及び技能】<br>大学入試共通テスト対策として、ネイティブの英語を聞いてリスニング力の向上をしつつ、様々な場面での英語表現を理解する<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、<br>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、<br>気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>演習を交えつつ、基礎基本の文法を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にしつつ、会話や英作文、プレゼンテーションなどの活動で自らの考えや意見を表現できるようにする。 | ・指導事項<br>クラスの生徒全員が授業についていけるように、机間指導を細かく行い、生徒の苦手なところは全体に共有する。<br>・教材　MY WAY Logic and ExpressionⅠ,MY WAY Logic and ExpressionⅡ（三省堂）<br>・一人１台端末の活用 | 【知識・技能】<br>大学入試共通テスト対策として、ネイティブの英語を聞いてリスニング力の向上をしつつ、様々な場面での英語表現を理解している<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、<br>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、<br>気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>演習を交えつつ、基礎基本の文法を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にしつつ、会話や英作文、プレゼンテーションなどの活動で自らの考えや意見を表現できている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| 1学 | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 期 | C 単元　Lesson 8　比較<br>【知識及び技能】<br>　大学入試共通テスト対策として、ネイティブの英語を聞いてリスニング力の向上をしつつ、様々な場面での英語表現を理解する<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、<br>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、<br>気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>演習を交えつつ、基礎基本の文法を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にしつつ、会話や英作文、プレゼンテーションなどの活動で自らの考えや意見を表現できるようにする。 | ・指導事項<br>クラスの生徒全員が授業についていけるように、机間指導を細かく行い、生徒の苦手なところは全体に共有する。<br>・教材　MY WAY Logic and ExpressionⅠ,MY WAY Logic and ExpressionⅡ（三省堂）<br>・一人１台端末の活用 | 【知識・技能】<br>　大学入試共通テスト対策として、ネイティブの英語を聞いてリスニング力の向上をしつつ、様々な場面での英語表現を理解している<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、<br>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、<br>気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>演習を交えつつ、基礎基本の文法を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にしつつ、会話や英作文、プレゼンテーションなどの活動で自らの考えや意見を表現できている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | D 単元　Lesson 9　関係代名詞<br>【知識及び技能】<br>　大学入試共通テスト対策として、ネイティブの英語を聞いてリスニング力の向上をしつつ、様々な場面での英語表現を理解する<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、<br>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、<br>気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>演習を交えつつ、基礎基本の文法を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にしつつ、会話や英作文、プレゼンテーションなどの活動で自らの考えや意見を表現できるようにする。 | ・指導事項<br>クラスの生徒全員が授業についていけるように、机間指導を細かく行い、生徒の苦手なところは全体に共有する。<br>・教材　MY WAY Logic and ExpressionⅠ,MY WAY Logic and ExpressionⅡ（三省堂）<br>・一人１台端末の活用 | 【知識・技能】<br>　大学入試共通テスト対策として、ネイティブの英語を聞いてリスニング力の向上をしつつ、様々な場面での英語表現を理解している<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、<br>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、<br>気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>演習を交えつつ、基礎基本の文法を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にしつつ、会話や英作文、プレゼンテーションなどの活動で自らの考えや意見を表現できている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2学期 | A 単元　Lesson 10　関係副詞<br>【知識及び技能】<br>　大学入試共通テスト対策として、ネイティブの英語を聞いてリスニング力の向上をしつつ、様々な場面での英語表現を理解する<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、<br>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、<br>気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>演習を交えつつ、基礎基本の文法を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にしつつ、会話や英作文、プレゼンテーションなどの活動で自らの考えや意見を表現できるようにする。 | ・指導事項<br>クラスの生徒全員が授業についていけるように、机間指導を細かく行い、生徒の苦手なところは全体に共有する。<br>・教材　MY WAY Logic and ExpressionⅠ,MY WAY Logic and ExpressionⅡ（三省堂）<br>・一人１台端末の活用 | 【知識・技能】<br>　大学入試共通テスト対策として、ネイティブの英語を聞いてリスニング力の向上をしつつ、様々な場面での英語表現を理解している<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、<br>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、<br>気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>演習を交えつつ、基礎基本の文法を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にしつつ、会話や英作文、プレゼンテーションなどの活動で自らの考えや意見を表現できている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | B 単元　Lesson 1　完了形<br>【知識及び技能】<br>　大学入試共通テスト対策として、ネイティブの英語を聞いてリスニング力の向上をしつつ、様々な場面での英語表現を理解する<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、<br>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、<br>気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>演習を交えつつ、基礎基本の文法を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にしつつ、会話や英作文、プレゼンテーションなどの活動で自らの考えや意見を表現できるようにする。 | ・指導事項<br>クラスの生徒全員が授業についていけるように、机間指導を細かく行い、生徒の苦手なところは全体に共有する。<br>・教材　MY WAY Logic and ExpressionⅠ,MY WAY Logic and ExpressionⅡ（三省堂）<br>・一人１台端末の活用 | 【知識・技能】<br>　大学入試共通テスト対策として、ネイティブの英語を聞いてリスニング力の向上をしつつ、様々な場面での英語表現を理解している<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、<br>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、<br>気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>演習を交えつつ、基礎基本の文法を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にしつつ、会話や英作文、プレゼンテーションなどの活動で自らの考えや意見を表現できている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | A 単元　Lesson 2　助動詞<br>【知識及び技能】<br>　大学入試共通テスト対策として、ネイティブの英語を聞いてリスニング力の向上をしつつ、様々な場面での英語表現を理解する<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、<br>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、<br>気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>演習を交えつつ、基礎基本の文法を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にしつつ、会話や英作文、プレゼンテーションなどの活動で自らの考えや意見を表現できるようにする。 | ・指導事項<br>クラスの生徒全員が授業についていけるように、机間指導を細かく行い、生徒の苦手なところは全体に共有する。<br>・教材　MY WAY Logic and ExpressionⅠ,MY WAY Logic and ExpressionⅡ（三省堂）<br>・一人１台端末の活用 | 【知識・技能】<br>　大学入試共通テスト対策として、ネイティブの英語を聞いてリスニング力の向上をしつつ、様々な場面での英語表現を理解している<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、<br>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、<br>気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>演習を交えつつ、基礎基本の文法を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にしつつ、会話や英作文、プレゼンテーションなどの活動で自らの考えや意見を表現できている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | | | | | | | 合計<br>55 |

年間授業計画　新様式

# 高等学校 令和６年度　　教科　情報　　科目 情報Ⅰ

教　科：　情報　　科　目：　情報Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 年次　1 組～　5 組

教科担当者：（１組～５組：久保田・新城）

使用教科書：（ 最新情報Ⅰ　実教出版　　）

教科　情報　　の目標：

| | |
|---|---|
| 【知識及び技能】 | 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得し、情報社会と人との関わりについて理解を深める。 |
| 【思考力、判断力、表現力等】 | 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | 情報と情報技術を適切に活用し、情報社会に主体的に参画する態度を養う。 |

科目　情報Ⅰ　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けるとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解する。 | 事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いる。 | 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとする。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 0 オリエンテーション<br>【知識及び技能】<br>中学校までの学習、既習内容の調査<br>ＰＣＬＬ教室の使い方 | ・授業の受け方、アンケート<br>・ＰＣの起動と終了方法<br>・ファイルの保存、フォルダの利用方法 | 【知識・技能】<br>・ＰＣを起動し、正しい方法で終了できる。<br>・パスワード管理ができ、指定のフォルダにファイルを保存できる。<br>・ＰＣＬＬ教室の使用ルールを理解する。 | ○ | | | 1 |
| | 1-1 情報社会<br>【知識及び技能】<br>情報化が進展する特質や人間とのかかわりについて考え、理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>情報と情報技術の活用をすることで、問題点が生じる事例を考える。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>情報化が及ぼす影響について、自らの活用を振り返り、改善しようとする。 | １章　情報社会と私たち<br>1-1　情報社会<br>・情報社会と情報<br>・情報の特性<br>・情報のモラルと個人に及ぼす影響 | 【知識・技能】<br>・情報化が進展する社会の特質について説明できる。<br>・情報の特性について説明できる。<br>・情報社会と人間とのかかわりについて考え、理解できる。<br>【思考・判断・表現】<br>・情報の特性を活用した事例と、情報の特性によって問題点が生じる事例をあげることができる。<br>・情報と情報技術の活用により加害者にならないための注意点、被害者にならないための対策方法をそれぞれあげることができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>情報化が個人に及ぼす影響について考え、自らの情報活用について振り返り、改善しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 2 |
| | 1-2 情報社会の法律と権利<br>【知識及び技能】<br>知的財産や個人情報について理解し、保護・管理の方法を考える。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>知的財産権が文化の発展に与える影響を説明し、プライバシーを適切に扱う大切さを説明する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>知的財産を活用し、主体的に参画する。 | １章　情報社会と私たち<br>1-2　情報社会の法律と権利<br>・知的財産<br>・情報の利用と公開<br>・個人情報の保護と管理 | 【知識・技能】<br>・知的財産について説明でき、法律を挙げることができる。<br>・目的を達成するために、著作権法に従って適切に利用する方法を説明できる。<br>・個人情報やプライバシーの概念を理解し、保護や管理の方法について説明できる。<br>【思考・判断・表現】<br>・知的財産権が産業や文化の発展に与えている影響について説明できる。<br>・他人や自分の個人情報とプライバシーを適切に取り扱う際の注意点を挙げることができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・知的財産を適切に活用し、主体的に創作活動に参画しようとする。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | 1-3 情報社会が築く新しい情報社会<br>【知識及び技能】<br>電気マネー、電子決済、IoT、仮想現実について説明する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>情報システムに関心を持ち、問題解決に役立つ方法を考える。 | １章　情報社会と私たち<br>1-3　情報社会が築く新しい社会<br>・社会の中の情報システム<br>・情報技術と課題解決 | 【知識・技能】<br>・電子マネー、電子決済の仕組みを説明できる。<br>・人工知能、IoT、仮想現実、各超現実についてそれぞれ説明できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・社会の中の情報システムについて興味や関心を持ち、問題解決に役立つ方法を模索することができる。 | ○ | | ○ | 1 |
| | 2-1 メディアとコミュニケーション<br>【知識及び技能】<br>各メディアの機能、特性を説明する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>状況に応じた適切なメディアを選択する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>メディアを批判的に思考し、効果的な表現、情報伝達ができるよう改善する。 | ２章　メディアと情報デザイン<br>2-1　メディアとコミュニケーション<br>・メディアの発達<br>・メディアの特性<br>・コミュニケーションの形態<br>・インターネットのコミュニケーション | 【知識・技能】<br>・メディアの機能、メディアの発達について説明でき、様々なメディアを分類できる。<br>・文字、図形、音声、静止画などの各表現メディア、情報メディア、伝達メディアの特性についてそれぞれ説明できる。<br>・電子メールやSNSなど、インターネットを利用する各種メディアとその特性について説明できる。<br>【思考・判断・表現】<br>・伝達する情報に応じて適切に表現メディアや情報メディアを選択して表現できる。<br>・コミュニケーションの方法を発信者と受信者の人数、位置関係、同期性により分類できる。<br>・適切かつ効果的にコミュニケーションを図るために、情報メディアを適切に選択できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・メディアから収集する情報を批判的に思考し、主体的に読み解こうとする態度を身に付けている。<br>・自らのメディア活用について振り返り、より効果的な表現や情報伝達ができるように改善しようとする。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | C 単元<br>【知識及び技能】<br>ユニバーサルデザインなどの説明や表現・配色の工夫方法を理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>ユニバーサルデザインの身近な例を挙げ、配色の表現をする。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>わかりやすく伝達するため主体的に情報整理・操作性を高める努力をする。 | ２章　メディアと情報デザイン<br>2-2　情報デザイン<br>・社会の中の情報デザイン<br>・情報デザインの工夫 | 【知識・技能】<br>・情報バリアフリー、ユニバーサルデザイン、Webアクセシビリティ、ユーザビリティの意味についてそれぞれ説明できる。<br>・文字や図の表現の工夫、表やグラフ、配色の工夫など基本的な方法を理解する。<br>【思考・判断・表現】<br>・情報バリアフリーやユニバーサルデザインについて、身近な例を挙げることができる。<br>・目的に沿って、情報を視覚化したり配色を考えて表現できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・効果的なコミュニケーションや問題解決のために、主体的に情報を整理したり、わかりやすく伝達したり、操作性を高める努力をしようとする。<br>・情報をわかりやすく伝達するため、文字や図、表、グラフなどを工夫して表現する学習活動を行い、評価を受けて改善を図ろうとする。 | ○ | ○ | ○ | 2 |
| | C 単元<br>【知識及び技能】<br>文書のスタイルやフォント、プレゼンテーションの準備など、ＰＣを使い作成する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>読み手が理解しやすい文書、適切・効果的なプレゼンテーションを行う。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>レイアウトを構成し、理解しやすい報告書・レポートを作成する。 | ２章　メディアと情報デザイン<br>2-3　情報デザインの実践<br>・文書の作成<br>・プレゼンテーション<br>・Webページ | 【知識・技能】<br>・文書の基本的なレイアウト、文字のスタイルやフォントについて理解できる。<br>・プレゼンテーションの企画、準備、実施、評価、評価、改善など、プレゼンテーションの流れに沿って説明できる。<br>・プレゼンテーションのためのスライド等の資料をＰＣを使い作成できる。<br>・情報を公開する目的で、HTMLやCSSを使ってWebページを作成できる。<br>【思考・判断・表現】<br>・報告者やレポートの目的に沿って、文書の構成やレイアウト等の体裁を考えながら、ワープロを用いて読む人が理解しやすい文書を作成できる。<br>プレゼンテーションソフトを用いてわかりやすいスライド資料を作成し、適切かつ効果的にプレゼンテーションを行うことができる。<br>・HTMLとCSSを用いて情報デザインを配慮したWebページを作成できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・わかりやすい報告書やレポートを作成するため、文書の構成やレイアウトについて工夫し、相互評価に基づいて改善しようとする。<br>・説得力のあるプレゼンテーションを行うため、スライド作成やリハーサルに取り組み、よりよいプレゼンテーションになるよう準備を進めている。<br>・プレゼンテーションの実施やWebページの作成にあたって、情報伝達の目的に適合するコンテンツ作成に努め、試行錯誤しながら個人やグループのコンテンツ制作の技能を高めようとする。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | C 単元<br>【知識及び技能】<br>コンピュータの構成、ハードウエア、ソフトウェアの説明をする。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>コンピュータの仕組みを説明する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>コンピュータの構成と性能、スマートフォンの機器に興味・関心を持つ。 | ３章　システムとデジタル化<br>3-1　情報システムの構成<br>・コンピュータの構成と動作<br>・ソフトウェアとインターフェース | 【知識・技能】<br>・コンピュータの構成や計算の仕組み、ソフトウェアの種類とその働き、ハードウェア、ＯＳ、応用ソフトウェアの関係をそれぞれ説明できる。<br>【思考・判断・表現】<br>・コンピュータの計算の仕組みについて、順序立てて説明できる。<br>・情報機器を相互に接続するために、適切なインタフェースを選択できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>コンピュータを構成する装置とその性能に興味・関心を持ち、スマートフォンなどの身近な情報機器について、性能の向上や発展的な活用の方法を考えようとする。<br>・コンピュータが計算する仕組みについて興味・関心を持ち、理解しようとする。 | ○ | ○ | ○ | 2 |
| | D 単元<br>【知識及び技能】<br>アナログとディジタルの違い、２進法と論理回路を説明する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>アナログとディジタルの違いを説明する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>コンピュータの仕組みに関心を持つ。 | ３章　システムとデジタル化<br>3-2　情報のデジタル化<br>・アナログとデジタル<br>・２進法と情報量<br>・演算の仕組み | 【知識・技能】<br>・アナログとデジタルの概念とその違いを理解する。<br>・２進法と情報量の関係、論理回路による演算の仕組みについて説明できる。<br>【思考・判断・表現】<br>・アナログとデジタルを比較し、その特徴を適切に説明できる。<br>・情報量を適切な単位で表現したり、変換したりできる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・情報のデジタル化について、より深く理解しようとする。<br>・コンピュータによる演算の仕組みについて関心を示し、理解しようとする。 | ○ | ○ | ○ | 2 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | D 単元<br>【知識及び技能】<br>２進数の計算、音声・画像のデータ量を計算する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>２進数、１０進数、１６進数の計算、音声・画像の情報を表現する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>データ量の計算に関心を持ち、ディジタル化された情報を適切に取り扱う。 | ３章　システムとデジタル化<br>3-2　情報のデジタル化<br>・数値と文字の表現<br>・数値の計算<br>・音声の表現<br>・静止画と動画の表現<br>・情報のデータ量 | 【知識・技能】<br>・２進数、１０進数、１６進数を相互に変換できる。<br>・２進数の加算や減算ができ、補数について説明できる。<br>・音声・画像の情報をデジタル化するための原理が説明でき、データ量を計算できる。<br>・データ量から圧縮率を求めることができる。<br>【思考・判断・表現】<br>・２進数、１０進数、１６進数を用い、目的に応じて適切に情報量を表現できる。<br>・音声・画像の情報を目的に応じて適切にデジタルで表現できる。<br>・圧縮率から圧縮効率を判断できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・データ量の計算について関心を持って取り組む。<br>・数値・文字・音声・画像などのデジタル化された情報を、適切に取り扱おうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | D 単元<br>【知識及び技能】<br>通信方式の種類、プロトコルの働き、インターネットの基本的な仕組みについて説明する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>LANを構成する情報機器の考えを適切に説明し、データを圧縮して転送する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>ネットワークの構成について調べ、インターネットの仕組みについて興味・関心を持つ。 | ４章　ネットワークとセキュリティ<br>4-1　情報通信ネットワーク<br>・ネットワークの構成<br>・情報通信の取り決め<br>・Webページとメールの仕組み<br>・転送速度とデータ圧縮 | 【知識・技能】<br>・通信方式の種類やその違いについて説明できる。<br>・インターネット通信の階層構造、各プロトコルの働きについて説明できる。<br>・IPアドレス、ドメイン名、ルーティングの基本的な仕組みや働き、WWWや電子メールなど、インターネットのサービスの内容と基本的な仕組みについてそれぞれ説明できる。<br>・目的に応じて適切にインターネットのサービスを選択し、利用できる。<br>・通信データの転送速度とファイルを圧縮する意義について理解する。<br>【思考・判断・表現】<br>・目的に沿って、LANを構成する情報機器の接続を適切に考えることができる。<br>・ファイルのデータを効率的に圧縮して転送できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>実際に利用しているネットワークの構成について自ら調べ、問題を指摘してネットワークの改善につなげようとする。<br>・インターネットの仕組みやサービスに興味・関心を持ち、問題の解決に向けてネットワークの活用について検討しようとする。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | D 単元<br>【知識及び技能】<br>情報セキュリティの考え、サイバー犯罪の内容と対策方法を説明する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>情報セキュリティの対策について判断し、アクセス制御・フィルタリングについて適切に選択する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>リスクを軽減する対策に関心を持ち、安全に送受信する仕組みを活用する。 | ４章　ネットワークとセキュリティ<br>4-2　情報セキュリティ<br>・脅威に対する安全対策<br>・情報セキュリティの確保<br>・安全のための情報技術 | 【知識・技能】<br>・情報セキュリティの３つの基本的な考えについて説明できる。<br>・不正アクセスなどサイバー犯罪の種類や内容、被害の実態、およびその対策方法について説明できる。<br>・メッセージの送受信、デジタル署名、電子認証など応用されている暗号化の方式と仕組みについてそれぞれ説明できる。<br>【思考・判断・表現】<br>・マルウェアや不正アクセスなどの情報セキュリティの脅威に対する対策について適切に判断し、対処できる。<br>・情報セキュリティの確保に向けて、目的に応じて、アクセス制御やフィルタリングなど適切な方法を選択できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・マルウェアやサイバー犯罪の被害に遭わないように、リスクを軽減するために対策を継続して行おうとする。<br>・暗号の利用など、情報セキュリティを維持するための技術に関心を持ち、理解のもとに安全に情報を送受信するための仕組みを活用しようとする。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | D 単元<br>【知識及び技能】<br>問題解決の手順を説明し、問題の構造を分析し、評価の方法を理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>問題解決の適切な方法を考え、評価を計画して適切な方法を選択する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>主体的に問題解決に取り組み、相互評価を行い改善を図る。 | ５章　問題解決とその方法<br>5-1　問題解決<br>・問題解決<br>・問題の発見<br>・問題の明確化<br>・解決案の検討<br>・解決案の決定<br>・解決案の実施と評価 | 【知識・技能】<br>・問題や問題解決の意味、問題解決の手順について説明できる。<br>・問題の明確化のための目的や目標の設定、問題の構造を分析できる。<br>・問題解決の評価の方法について理解する。<br>【思考・判断・表現】<br>・問題の発見のための現状分析の方法を考え、適切に選択できる。<br>・問題解決の制約条件を考え、目的と目標の設定を適切に行うことができる。<br>・問題解決に適合した評価を計画・実施して、分析しやすいように評価結果を纏めることができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・主体的に問題解決に取り組み貢献しようとする。<br>・試行錯誤しながら粘り強く問題の発見・解決に取り組む。<br>・問題解決の結果を振り返り、積極的に自己評価や相互評価を行い、改善を図ろうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | D 単元<br>【知識及び技能】<br>データの種類と水準を理解し、収集したデータを適切に処理する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>問題解決の目的に応じ、手法を適切に選択して分析結果を表現する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>問題解決のため、表計算ソフトやグラフ化することに積極的に取り組み、相互評価で分析結果を振り返り改善を図る。 | ５章　問題解決とその方法<br>5-2　データの活用<br>・データの収集と整理<br>・データ分析と表計算<br>・データの可視化<br>・データ分析の手法<br>・データベースとは | 【知識・技能】<br>・データの種類と尺度水準について理解し、収集したデータを整理できる。<br>・表計算ソフトで統計処理に用いる関数を活用してデータを処理でき、グラフ化できる。<br>・データベースの意味と必要性を理解し、事例としてリレーショナルデータベースの機能について説明できる。<br>【思考・判断・表現】<br>・問題解決の目的や内容に適したデータを選択して収集でき、適切に尺度水準を用いてデータ整理ができる。<br>・問題解決の目的に応じて、データ分析の手法を適切に選択し、分析結果を効果的に表現できる。<br>・リレーショナルデータベースとNoSQLの特徴を考慮して、格納するデータの性質や量に応じて選択できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・問題解決のため、表計算ソフト等を用いて情報を処理したり、グラフで可視化したりすることに興味を持つ。<br>・問題解決のためのデータ分析を、試行錯誤しながら粘り強く行うことができる。<br>・問題解決のためのデータ活用に関する取り組みを、データ分析の方法や分析結果の妥当性について、自己評価や相互評価で振り返り、改善しようとする。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | D 単元<br>【知識及び技能】<br>モデル化・シミュレーションの意味を説明し、事例についてモデルやグラフを作成する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>モデル化の目的を明確にし、表やグラフを作成する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>モデル化に関心を持ち、実際にモデル化を試み改善するなど、主体的に取り組む。 | ５章　問題解決とその方法<br>5-3　モデル化<br>・モデル化とシミュレーション<br>・モデルの分類<br>・モデル化の手順<br>・モデル化の手法<br>・モデル化をするときの注意 | 【知識・技能】<br>・モデル化およびシミュレーションの意味について説明でき、社会の問題解決でどのように利用されているか例を挙げて説明できる。<br>・モデル化の基本的な手順について説明でき、問題を整理したり、構造を明らかにするために、図的モデルを作成できる。<br>・動的に変化する現象のいくつかの事例について、図的モデルや数式モデルで表し、表計算ソフトを用いてグラフを作成できる。<br>【思考・判断・表現】<br>・実際に使われているモデルについて検討し、表現形式や対象の特性で適切に分類できる。<br>・モデル化の目的を明確にして適切にモデルの構造を決定し、モデルを数式などで表現できる。<br>・現実の問題をモデル化するために、図的モデルや数式モデル、表やグラフを作成できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・現実の現象についてのモデル化に関心を持ち、自ら進んでモデル化を試みるなど、主体的に学習に取り組む。<br>・作成したモデルに対し、目的を達成しているかの観点で自己評価、相互評価を行ってモデルの改善に努めようとする。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | D 単元<br>【知識及び技能】<br>シミュレーションによる問題解決を行ってその方法を理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>シミュレーションの結果は状況により変化することを理解し、ひょうやグラフで表現する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>シミュレーションに関心を持ち、問題解決に意欲的に取り組む。 | ５章　問題解決とその方法<br>5-4　シミュレーション<br>・シミュレーションの実際<br>・モンテカルロ法<br>・モデル化とシミュレーションによる問題解決 | 【知識・技能】<br>・確率的モデルをコンピュータでシミュレーションする意義について説明できる。<br>・待ち行列を事例にモデル化とシミュレーションによる問題解決を行い、問題解決の方法を経験して理解する。<br>【思考・判断・表現】<br>・表計算ソフトの関数を適切に選択・活用して、確率的モデルのシミュレーションを実行できる。<br>・シミュレーションの結果は、試行するたびに変化することの意味を考え、確率的モデルと他のモデルとを比較・検討できる。<br>・モンテカルロ法や待ち行列など確定的モデルのシミュレーションの過程を表やグラフで表現できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・店舗の待ち行列など、具体的な事象のシミュレーションに関心を持ち、シミュレーションを用いた問題解決に意欲的に取り組む。<br>・店舗のレジの待ち行列のシミュレーションを繰り返し、レジの窓口数を検討するなど、シミュレーションの結果を用いて問題を解決しようとする。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| ３学期 | D 単元<br>【知識及び技能】<br>アルゴリズム、プログラムを説明し、基本構造、手順を理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>基本制御構造を用いてフローチャートで表現する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>問題解決のためのアルゴリズムに主体的に取り組む。 | ６章　アルゴリズムとプログラミング<br>6-1　プログラミングの方法<br>・アルゴリズムとその表記<br>・プログラミング言語 | 【知識・技能】<br>・アルゴリズムとプログラムについてそれぞれ説明できる。<br>・アルゴリズムの基本制御構造（順次、選択、反復）の違いについて説明できる。<br>・プログラミングの手順（設計→コーディング→テスト）を理解する。<br>【思考・判断・表現】<br>・簡単なアルゴリズムを文章やフローチャート等の図で表現できる。<br>・基本制御構造（順次・選択・反復）を適切に用いて、簡単なアルゴリズムを表現できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・問題解決のためのアルゴリズムを考える学習に、主体的に取り組む。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | D 単元<br>【知識及び技能】<br>変数、配列、関数を用いて探索や整列のプログラムを作成する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>基本制御構造を使用してプログラムを作成し、アルゴリズムを評価する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>プログラムを相互評価し、効果的なプログラムを作成しようとする。 | ６章　アルゴリズムとプログラミング<br>6-2　プログラミングの実践<br>・プログラミングの方法<br>・関数を使用したプログラム<br>・探索と整列のプログラム | 【知識・技能】<br>・変数や配列を使用して、選択構造や反復構造のプログラムを作成できる。<br>・関数の概念を理解して関数を使用し、簡単なプログラムを作成できる。<br>・探索（線形探索，二分探索）および整列（バブルソート）のアルゴリズムを理解し、プログラムを作成できる。またアルゴリズムの違いによる評価を行うことができる。<br>【思考・判断・表現】<br>・問題解決のアルゴリズムにしたがって、基本制御構造を使用して適切かつ効率的にプログラムを作成できる。<br>・データ量と計算量の変化からアルゴリズムを評価し、適切なアルゴリズムを選択できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・問題解決のためのアルゴリズムを考え、試行錯誤しながらプログラムを作成できる。<br>・問題解決のために作成したプログラムの記述を相互評価し、改善してより効率的なプログラムを作成できる。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | 合計 | |
| | | | | | | 70 | |

年間授業計画　様式

# 高等学校 令和６年度　　教科　総合的な探究の時間　科目　総合的な探究の時間

教　科：　総合的な探究の時間　　科　目：　総合的な探究の時間　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　2 年次　1 組～　5 組

教科担当者：（　1組：土肥）　（　2組：佐々木　）（　3組：石井　）　（　4組：樋口　）（　5組：中林　）

使用教科書：（　　）

教科　総合的な探究の時間　　の目標：

【知識及び技能】　進路活動に必要な情報を収集する知識をつける

【思考力、判断力、表現力等】　資料、講演等の活動を通して志望分野を深めようとする力を育てる。他者に伝えるための技術を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】　共に生きる社会を築くために他者と認め合う生き方を模索する態度を育てる。

科目　総合的な探究の時間　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| ・一人１台端末を使って自分の進路実現に必要な情報を見つける。<br>・「進路のしおり」を活用する力をつける。<br>・見つけた情報を取捨選択し管理・蓄積させる。 | ・自分の適性を見極め進路決定する。<br>・志望理由書、小論文練習に余念なく準備する。<br>・自分の思考・表現力を最大限に生かして文章と面接で表現できるようにする。<br>・卒業を前に自分のあり方を見つめ卒業研究に著す。 | ・周りの仲間と情報交換し励まし合う。<br>・お互いの人生を尊重し合い、認め合う。<br>・共に社会を築く仲間として意見交換できる仲間を増やす。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | A 単元<br>【知識及び技能】<br>１年間の進路活動を把握させる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>進路について深く考え決定させる<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>安易な進路に流されず自己鍛錬させる。 | ・指導事項<br>オリエンテーション<br>・教材<br>１年間の進路活動の流れの把握 | 【知識・技能】<br>講演を聴き必要な情報を見つける<br>【思考・判断・表現】<br>ワークシートに的確なメモを取っている<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>自分の進路希望に合う情報をつかもうとする態度があるか | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | B　単元<br>【知識及び技能】<br>進路のしおりを進路活動に利用させる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>進路について深く考え決定させる<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>安易な進路に流されず自己鍛錬させる。 | ・指導事項<br>進路のしおり<br>・教材　進路のしおり、ワークシート<br>・一人１台端末の活用　等 | 出席<br>提出物<br>授業態度<br>体験・演習への取組 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | C単元<br>【知識及び技能】<br>分野研究<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>様々な情報を活用する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>同じ分野を志望する仲間との情報共有 | ・指導事項<br>分野研究<br>・教材　進路のしおり、ワークシート<br>・一人１台端末の活用　等 | 出席<br>提出物<br>授業態度<br>体験・演習への取組 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | D 単元<br>【知識及び技能】<br>オープンキャンパスについて講演を聞く。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>進路先を考え始める。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>同じ分野を志望する仲間との情報共有 | ・指導事項<br>進路のしおり<br>・教材　進路のしおり、ワークシート<br>・一人１台端末の活用　等 | 出席<br>提出物<br>授業態度<br>体験・演習への取組 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2学期 | E 単元<br>【知識及び技能】<br>小論文の書き方を知る。<br>面接で自己表現する技術<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>自らの進路について深く考え決定させる<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>進路に沿った受験マナーを考えさせる。 | ・指導事項<br>進路のしおり<br>・教材　進路のしおり、ワークシート<br>・一人１台端末の活用　等 | 出席<br>提出物<br>授業態度<br>体験・演習への取組 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | F 単元<br>【知識及び技能】<br>社会問題を考える。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>社会問題の中で興味を感じる分野を明確にする新書を読んだり、小論文を書いてみる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>他者と連携して社会問題の解決に向けて思考を深める。 | ・指導事項<br>進路のしおり<br>・教材　進路のしおり、ワークシート<br>・一人１台端末の活用　等 | 出席<br>提出物<br>授業態度<br>体験・演習への取組 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| 3学期 | G　単元<br>【知識及び技能】<br>3年生い向けて、自分の進路を考える。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>１年間に何を学び、何が足りなかったのか自己分析する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>自己の１年を進路活動の資料として次年度に残す。 | ・指導事項<br>進路のしおり<br>・教材　進路のしおり、ワークシート<br>・一人１台端末の活用　等 | 出席<br>提出物<br>授業態度<br>体験・演習への取組 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | | | | | | | 合計<br>52 |